

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ ジョイコン NEWS ♪

第 1 5 号 2015 年 12 月 13 日

3 年前の今頃、スタッフはみんな“不安と心配のるつぼ”の中に居ました。予約は頂いたものの本当に当日来て頂けるだろうか、運営は大丈夫か、準備に漏れはないか等々…。

3 周年記念特別演奏会を迎えるいま、あのころのことを忘れず、さらにその内容や運営を充実させていきたいと思えます。これからも引き続き「ジョイコン」を宜しくお願い申し上げます。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第 1 5 号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【 1 】 次回コンサートのご案内
 - ◆ 第 1 9 回コンサート（3 周年記念特別演奏会）
- 【 2 】 今後の予定（先取り情報）
 - ◆ 第 2 0 回コンサート
 - ◆ 第 2 1 回コンサート
- 【 3 】 ヴァイオリニストのバイブルは？
- 【 4 】 コンサートのアンケートから

【 1 】 次回コンサートのご案内

■■ 第 1 9 回コンサート（3 周年記念特別演奏会） ■■

- ◇ 2 0 1 6 年 1 月 1 7 日（日曜日）
 - 《第 1 部》 13:00 開演（12:30 受付開始）
 - 《第 2 部》 16:30 開演（16:00 受付開始）
- ◇ 出演：横山奈加子（ヴァイオリン）、横山和加子（ヴァイオリン）、佐々木京子（ピアノ）
- ◇ プログラム（予定）
 - ・ モーツァルト（アナンド・リー編曲）：ピアノソナタ K311「第 1 楽章」より
 - ・ プレイエル：6 つの小さな 2 重奏曲 Op. 48 より「第 2 番」
 - ・ プロコフィエフ：2 つのヴァイオリンのためのソナタ ハ長調 Op. 56
 - ・ モシュコフスキ：2 つのヴァイオリンとピアノのための組曲 Op. 71
 - ・ サラサーテ：ナヴァラ 他
- （第 1 部、第 2 部とも同一プログラムの 2 回公演です）
- ◇ 料金：大人・高校生 2,000 円、中学生以下 1,000 円
- ◇ 会場：大倉山記念館ホール

第 1 9 回ジョイフルコンサートは『生粋の浜っ子・横山姉妹によるヴァイオリン Duo リサイタル』と題して、お届けします。

演奏者のみなさんからメッセージが届いています。

演奏者からのメッセージ

私たちは子供の頃から大倉山で育ちました。その頃から変わらない、素晴らしい存在であり続ける大倉山記念館の記念すべきコンサートに、出演させて頂けますことを、今からとても楽しみにしています！（横山奈加子）

バイオリンデュオはレパートリーが限られていると思われていますが、今回は、モーツァルトからプロコフィエフまで、幅広いプログラムを

選びました。どの作品にも作曲家のキラリと光るエッセンスが詰まっています。ごゆっくりお楽しみください。（横山和加子）

横山奈加子さんと和加子さんとは学生時代からの長いお付き合いで、今までにたくさん共演させて頂きました。今回とても素敵な雰囲気の大倉山記念館で演奏させて頂けますことを楽しみにしております。（佐々木京子）

今回の大倉山ジョイフルコンサートは3周年記念特別演奏会として第1回のコンサートで演奏していただき大変好評だった、大倉山にご縁の深い横山奈加子さん、和加子さん姉妹によるヴァイオリン Duo の再演です。メッセージにもあるように、ご本人達もとても楽しみにしてくださっています。

できるだけ多くの方にお聴き頂けるように、今回は昼と夕方の2回公演を行います。演奏者の方にも快くお引き受け頂きました。どうぞお楽しみになさってください。

☆モシュコフスキ/2つのヴァイオリンとピアノのための組曲OP71

*モシュコフスキ

モシュコフスキは現在では残念ですがあまり名を知られていません。私も正直知りませんでした。ピアノの練習曲集にあったかもしれない…ぐらいです。しかし生前はとても人気のあるピアニストであり、作曲家でもあったそうです。

プロイセン王国(現在のポーランド)に生まれたユダヤ系ポーランド人でした。裕福な家に生まれ、熱心なユダヤ教徒でもありました。ピアノと作曲とヴァイオリンを習い、一時はヴァイオリニストを目指したこともあったそうです。非常に才能豊かだったと書いてありました。その後ピアニストとして成功し、自作のピアノ協奏曲をリストと一緒に演奏したこともあったそうです。

ベルリン音楽院で教え、ピアニスト、作曲家、指揮者としても活躍します。しかし腕の神経の異常から段々とピアノが弾けなくなり、リサイタルを行うことも難しくなってしまう。でも作曲、教育、指揮を精力的に行いました。

その後印象派の音楽が台頭してくると、その流れを受け入れることができずに弟子を取ることもやめてしまい、時代遅れの音楽家になっていって、人気にも陰りが出てきてしまいます。更に健康状態も悪化してしまい、家族も去って行ってしまいます。経済的には困窮を極め、元弟子たちが何とか支えますが失意の内に亡くなりました。

晩年は決して恵まれたとは言えませんが、モシュコフスキは200曲ものピアノ曲を作曲し、ピアニストのパデレフスキはモシュコフスキのことをショパン以降にピアノのためにどのように作曲すればいいかを心得ていたと評したそうです。

*2つのヴァイオリンとピアノのための組曲OP71

モシュコフスキの晩年の作品で4つの異なる曲調楽章からなりたっています。ヴァイオリンの情熱的で重厚なハーモニーで重々しく始まる1楽章、穏やかで優しく、春を感じさせるような2楽章、ピアノから始まり物悲しくでも美しいメロディーがヴァイオリンで続く3楽章、快活で少し民族音楽のような雰囲気のある4楽章です。勿論ヴァイオリンの旋律がとても華やかですが、実はピアノも大変難しく聴き応えがあるそうです。是非注目してお聴きください。

他にも大曲が続きます。息の合った演奏をどうぞお楽しみになさってください。(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

※第1部は満席となりました。第2部も、残席が少なくなってきました。

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第20回コンサート■■

◇2016年3月20日（日曜日）
◇出演：鈴木大介（ギター）
ジョイコン初のクラシックギターコンサートです。

◆予約受付開始日：2016年1月18日（月曜日）

■■第21回コンサート■■

◇2016年5月15日（日曜日）
◇出演：中山正瑠（オーボエ）、黒田聰（フルート）、中里真也（クラリネット）
早川邦宏（ファゴット）、安田健太（ホルン）【木管五重奏】

【3】ヴァイオリニストのバイブルは？

ピアニストにとってバッハの『平均律クラヴィーア曲集』とベートーヴェンの『ピアノソナタ全集』、チェリストにとってバッハの『無伴奏チェロ組曲』はバイブルのようなものと言われています。

では、ヴァイオリニストにとってのバイブルは？・・というとバッハの『無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ』ではないでしょうか。演奏技術、曲の解釈などいろいろな意味で、この曲はそれまでのヴァイオリンの可能性をはるかに超え、今の時代まで一目置かれる存在となっています。

ヴァイオリンはどちらかという伴奏者をつけて単旋律をきれいに奏でるメロディー楽器の部類に入りピアノのように和音を鳴らせる楽器ではありません。しかし、この曲はヴァイオリン1挺で弾くため重音奏法を駆使して和声的にも非常に高度な表現をしています。

『無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ』はソナタ第1番から第3番、パルティータ第1番から第3番までの全6曲でできています。

3曲のソナタは教会ソナタの形式です。教会ソナタとは「ゆっくり」「速い」「ゆっくり」「速い」という4つの楽章でできており、舞曲風の楽章を含まないバロック時代の器楽音楽の形式です。教会で演奏される、あるいは教会風の雰囲気を持つ真面目で重々しい曲想が多いようです。

これに対してパルティータは「アルマンド」「クーラント」「サラバンド」「ジグ」「メヌエット」「ブーレ」「シャコンヌ」などさまざまな舞曲を集めた組曲です。現代では組曲はsuite（スイート）といいますが、バッハの時代はパルティータという用語を使っていました。

ひとつひとつ個性をもった舞曲ですが、パルティータ第2番の終曲の「シャコンヌ」は特に有名でこれだけで単独で演奏されることも多い曲です。257小節の中で冒頭8小節がテーマとなり、これが32回変奏されていきます。演奏時間が15分を超える壮大な作品です。

ヴァイオリニスト達は「バッハは同じ曲を何回弾いても、いつも新しい発見と教えられるものが必ずある」と言っています。
「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ」はクラシックギターの演奏で聴いてもすばらしいと言われています。
またパルティータ第2番はピアノ曲にも編曲され、様々なピアニストによって演奏されています。

多くの演奏家達を魅了している奥深いこの曲を機会があったら是非お聴きになってみて下さい。（のん）

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（11月15日公演）、平井千絵さんの『フランス革命 その時代のピアノと音楽～フォルテピアノのすべてがわかるトークコンサート～』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「良かった」「大変良かった」の合計が86%（あとは無回答の14%）もあり、高い評価でした。

アンケートの自由記入欄（ご感想など）には、『珍しい楽器の音が聴けました。時空を超えた素朴で心地良い音を聴いた気がします』『こんな近い位置でフォルテピアノを聴くことができて幸せです！』『長年の望みだったフォルテピアノのナマの音色を聴けて大変満足です』『フォルテピアノの響きと会場が良く合っていて、とても素敵でした。お話もとても素晴らしかったです』『今日のセッティングは大変良かったです。後ろの窓から外光が入ってくる具合も、とても感じが良かったです』など数多くのメッセージが寄せられました。

アンケートの「集計結果」は、お客様の生の声として演奏者にもそのままお知らせしています。（もちろん個人情報含まれません）

平井さんから感謝メールが届きましたので、その一部を紹介いたします。

“お忙しい中、さっそく詳細にまとめていただき、恐縮しております。

わ～～っ、ほんとうに嬉しい結果ですね！

みなさまの熱いサポートのおかげです！！

《中略》

おかげさまで、会場でも販売させていただいた、Mozart Speaks vol.4ですが、レコード芸術誌特選をいただきました！古楽専門月刊誌アントレでも、いままでにない高評をいただきました。今月のローランド（電子ピアノで有名な）社発行のRetsという雑誌の表紙になっています！どこかでご覧いただければ幸いです☆”

「ジョイコン」は、今後も演奏者とお客様を繋ぐ“架け橋”になれるよう努めてまいります。

【編集後記】

10月下旬にパリで行われたロン＝ティボー国際音楽コンクールで、ジョイコンの第12回コンサート（2014年11月16日）に出演されたピアニストの實川 風（じつかわ かおる）さんが、第3位（1位なし）入賞を果たした。

若手音楽家の登竜門といわれる国際コンクールでの入賞だけに嬉しいですね。

■演奏会予約申し込み

次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

info@ohkurayama-joycon.com

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール info@ohkurayama-joycon.com

携帯電話 080-8424-5108

URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>
